

自立と共生！

たくましい日本！

No. 196号

民主党 中川正春の **永田町かわら版**

2003年7月22日

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 428号

TEL 03-3508-7128

FAX 03-3508-3428

<http://www.MASAHARU.GR.JP>E-mail [g03063@shugiin.go.jp](mailto:g03063@shugiin.go.jp)**○選挙近し。民主党の5区に候補者擁立**

国会の中が選挙モードになってきました。それぞれ、議員の日程も、時間があれば選挙区に帰ることが鉄則になり、東京で捕まえる事が難しくなっています。

私も、昨日は、ポスターやパンフレット用の写真をとってもらいました。これだけは、3年前に撮ったものでごまかす事はできず、その都度カメラの前におさまります。週末は、できる限りのミニ集会と、参加型のイベントめぐりをする事に徹しています。

どの会場もとても盛り上がりのある懇談会になって、家に帰るとくたくたです。政治に対する不満。日本の将来に対する不安。経済や社会が後ろ向きに縮んでいく焦燥感。皆の、そんな気持が、腹いっぱいぶつけられる中で、私自身、自分の力の限界を感じ、悔しい思いをかみ締めながら、東京に帰ってきます。「そやから、中川さん。民主党がしっかりせなアカンのや。」このことです。

三重県の5区が、空白区として残っていました。自民党は、藤波系の山本県議か、田村系の中川正美県議のどちらかを擁立する方向で、調整しています。

**私達、民主党も候補者の擁立が出来そうな状況です。現在、3人の人が、民主党から出馬をしたいと手を上げています。この中から、議論して一人を党として公認することになりそうです。** 県会議員の皆さんや、連合地協など5区の地元関係者の意見を充分尊重して、「皆でこの人を担ぐ事が、地元の未来をつくることになる。」と言う気持で、選挙を戦える人を選びます。民主党の公認決定は、8月初旬になります。

**○民主党、自由党の合併決まる**

民主党と自由党の合併が電撃的に決まりました。私は、大歓迎です。菅さんと小沢さん、党首同士のトップ会談で突然に決まったような話になっていますが、

がりの中で、合併が了承されました。183人から、203人の党になって、さらに政権に向けて、弾みがつくように後の始末をしっかりとつけることです。具体的には、全国30箇所の選挙区で民主と自由の候補者がかち合っているものを整理する。「政策と党の役職は民主党が中心に」とは言うものの、いざ一緒になればさまざまな議論や駆け引きが出てくるのが考えられます。それを、どんなことをしてでも「政権をとる」という大義で、この党をまとめる力を、私達がはっきりと国民に見せる。このことがあって、合併は成功だったと言ってもらえるのでしよう。

**○イラクとアフガニスタンの現地調査に行きます。**

31日から8月8日までイラクとアフガニスタンに行く事が決まりました。日々、現地の治安が悪くなってくるような状況の変化がテレビや新聞を通じて伝えられるものですから、皆が心配してくれます。特別措置法の委員会の理事を中心に各党が参加します。社民党の阿部知子さん、公明の丸谷佳織さんや、保守新党の山谷えり子さんの3人が女性メンバーです。

ヨルダンのアンマンにパリ経由で飛び、ここから、車で高速道路をバグダッドまでぶっとばすそうです。「東京から岡山までの距離を、気温50度、昼間に休みなく8時間くらいで走る。下手に止まれば盗賊などに襲われる危険もあるし、アメリカの占領軍に厳しい状況が出てきたので、外国人についても歓迎されなくなってきたのでは。」こんな説明が外務省の担当者から続きます。「帰りの飛行機は、本当にP航空でいいのでしょうか。」と何回も訊くから、「なぜ、そんなに念を押すのか。」と尋ねます。「私達職員は、整備に信用が置けないので、普通はこの会社には乗らない事にしています。」こんな返

実際は、7月のはじめから、幹事長や周辺の人たちの間で周到に用意されたシナリオで動いていた事です。

今日の衆参両議院の総会で異論が出たり、混乱する事を心配していましたが、すっきりとした盛り上

事が返ってきます。最後の方では、メンバーの表情も変わり、だんだんと重たい空気が漂いました。

行ってみて、どのようなことになるのか。実際、自衛隊の隊員や家族にとっては、大きな不安が付きまとうのです。この目で、本当に価値のあるミッションになるのか、見定めてきます。